

エアトース®

ピンの取付方法

★説明書はサイトからもご覧頂けます。
https://www.northv-labs.co.jp/pdf/Innstruction_Pin.pdf



本文書の著作権は株式会社ノースビレッジラボに帰属します。許可なく全部または一部の転写、編集を行うことはできません。

・本文書に含まれている情報は、本企画の評価に関する以外の目的では使用されず、且つ部外者への情報開示は行われないものとします。

・本文書の実験結果等数値を含む情報は妥当なテストや調査によって得られたものですが、再現性や普遍的、恒久的結果を保障するものではありません。

・本文書に含まれる内容に関して、約束を保証するものではありません。更に、本文書評価の為の全ての情報を含んでいることを保証するものではありません

※エアトースは両面同じ構造になっており、どちらから騒音が入ってきても効果が同じになるようにしております。

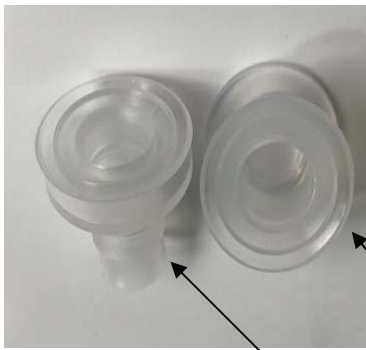
【適用基板及びシート】

1) パネルの場合

- ・ポリカーボネート、アクリル、鉄板
- ・2～6mm厚（3mm未満の場合は、シート同様1～2mmのパッキンを使用

2) カーテン（シート）の場合

- ・ビニール各種、防音シート
- ・1～3mm程度（1～2mmのパッキンを使用）



エアトースオスピン(A)

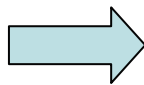
エアトースメスピン(B)



パッキン(シリコン)

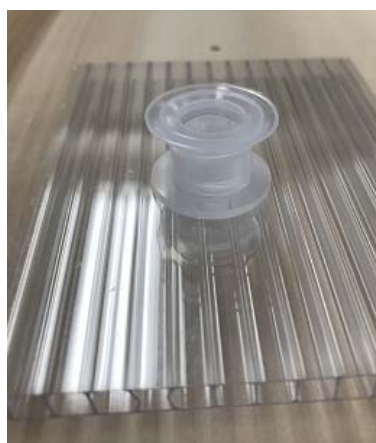
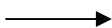
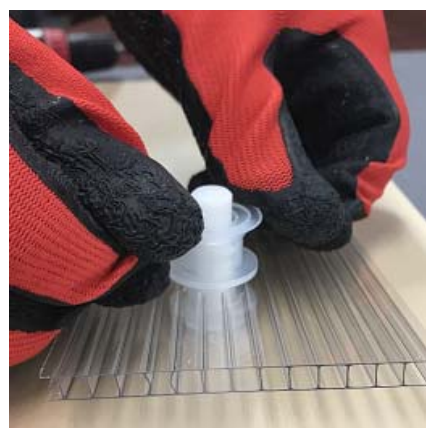
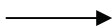
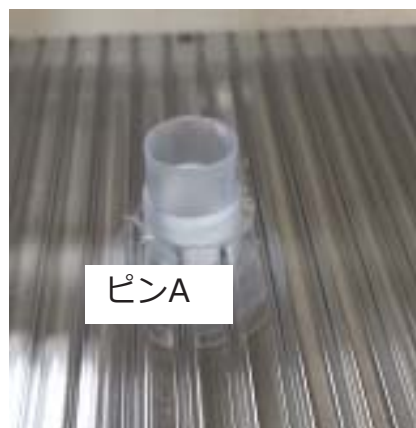
【パネルの穿孔】

15mm径のホールソーを使用します。



【エアトースピン取付手順（パネル）】

- 1) パネルの穴にエアトースピンAを差し込みます
- 2) ジグをピンAの穴に差し込みます。
- 3) ジグの上にエアトースピンBを強く押し込みます。
- 4) ジグを抜き取ります。



【注意】

ヒント: ジグ挿入部にほんの少しシリコングリスなどの潤滑剤を塗布すると、より挿入しやすくなります（塗りすぎるとグリスの色がつくので注意が必要です）。
◆ 抜く時に硬いと感じたら、再塗布します。

ジグを抜き取った後、ゴム板等を使用し、しっかりとピンBを押さえ込み、ピンがぐらつかないようにします。

- ① 穴が塞がっていないか、或いは歪んでないかご確認下さい。
穴の中でパイプが折れたり、穴をふさいでいる場合があります。
- ② ゆるみがないかご確認下さい。
前述のようにオスピンとメスピンを再度押し込んでパネルに密着させてください。

【シートの穿孔】

14mm径のホールソーを使用し、パネルと同様の方法で穿孔できますが、シートが薄い場合は、ドリルに巻き込まれる場合があるので、その場合は、ポンチを使用して穿孔します。シートは薄いので、エアトースの面を揃える為、1~2mmのパッキンを使用します。ポンチは14mm径を使用します。



[エアトースピン取付手順 (シート)]

- 1) シートの穴にエアトースピンAを差し込みます
- 2) パッキンをピンAに差し込みます。
- 3) ジグをピンAの穴に差し込み、ピンBを強く押し込みます。
- 3) ジグを抜き取ります。



ヒント: ジグ挿入部にほんの少しシリコングリスなどの潤滑剤を塗布すると、より挿入しやすくなります (塗りすぎるとグリスの色がつくので注意が必要です)。
◆ 抜く時に硬いと感じたら、再塗布します。

[注意]

ジグを抜き取った後、ゴム板等を使用し、しっかりとピンBを押さえ込み、ピンがぐらつかないようにします。

- ① 穴が塞がっていないか、或いは歪んでないかご確認下さい。
穴の中でパイプが折れたり、穴をふさいでいる場合があります。
- ② ゆるみがないかご確認下さい。
前述のようにオスピンとメスピンを再度押し込んでパネルに密着させてください。

【ガイドの取付（シート）】

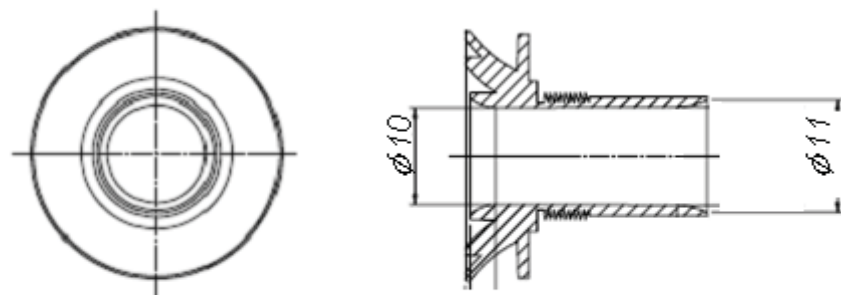
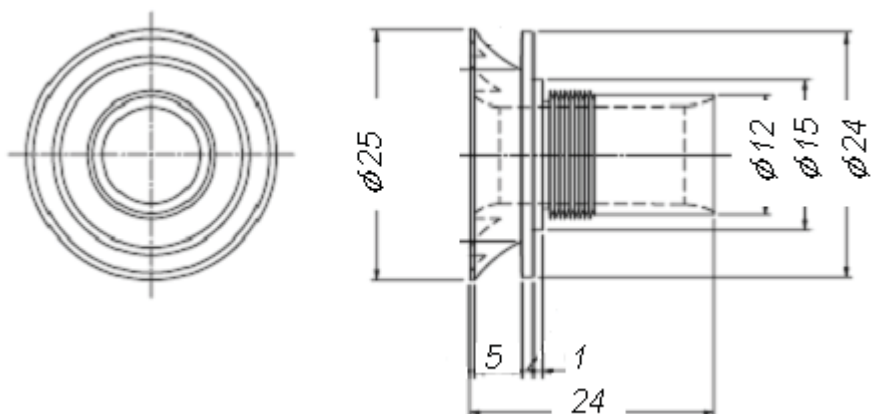
カーテン仕様にする場合には、上部にフックを取り付ける穴を用意します。

- 1) 穿孔用のポンチを使用し、下穴を開けます。
ポンチ系は、シートの重さ、厚みにもよりますが、5mm～8mm程度が一般的です。
- 2) 穴が5mm以下の場合は、穴あけパンチを使用すると簡単です。
- 3) 穴に、シートに応じたハトメを用意し、プライヤで押し込んで完成です。



だるまフック等でレールに取り付けます。

エアースピンA (オス)



エアースピンB (メス)

